

わかりやすい

牧之原市の財政 2023

夢に乗るまち

牧之原



もくじ

- ◆予算 令和5年度の予算を見てみよう・・・ 1
収入・支出の内訳、市民1人あたり換算、
1か月の家計簿、主要事業、市の貯金・
借金、目標額
- ◆決算 令和3年度の決算を見てみよう・・・ 17
収入・支出の内訳、収入・支出の推移、
財政指標の状況
- ◆財務書類 財務書類から見た市の財政状況・・・ 23
一般会計等財務書類、行政目的別の状況、
分析表

予算は

目的などに応じて3種類あるよ



企業会計

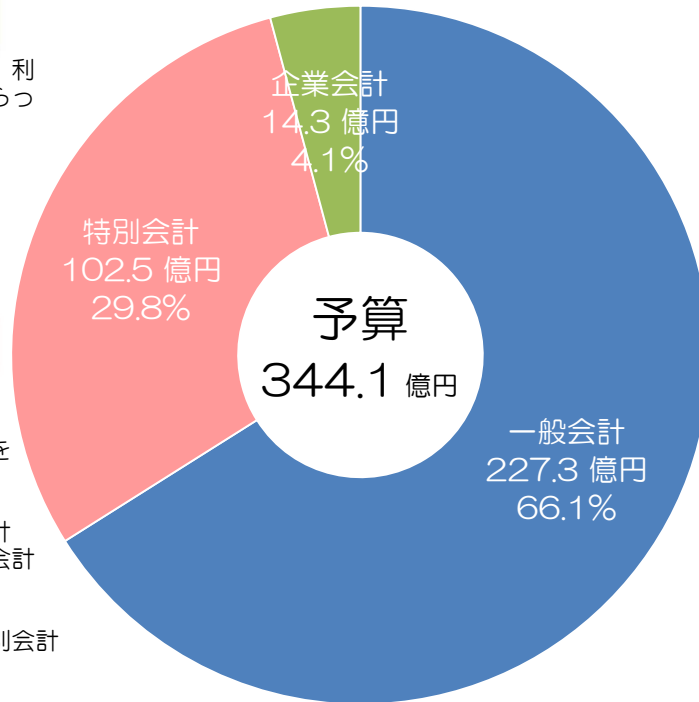
民間企業と同じように、利用した人から料金をもらって事業を行う会計です。

- 水道事業会計

特別会計

特定の収入があるため、独立した予算で収支を明確にし、特定な事業を行う会計です。

- 国民健康保険特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 介護保険特別会計
- 土地取得特別会計
- 農業集落排水事業特別会計



一般会計

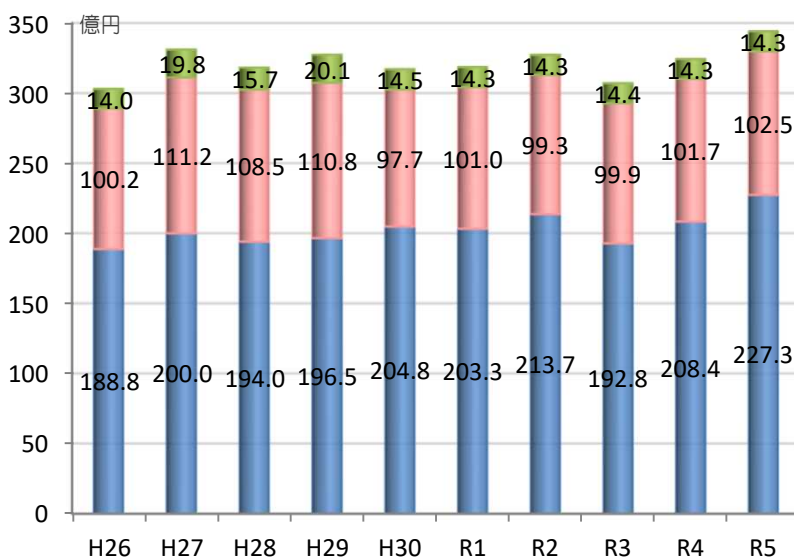
福祉、教育、道路の整備・補修など、市の基本的な事業を行う会計です。主に、市税や地方交付税などで賄われています。

- 一般会計



意次くん

予算の推移



予算規模が増加傾向になっています。

一般会計は、東日本大震災以降、津波避難タワーや防災公園などを整備してきたことが要因となります。

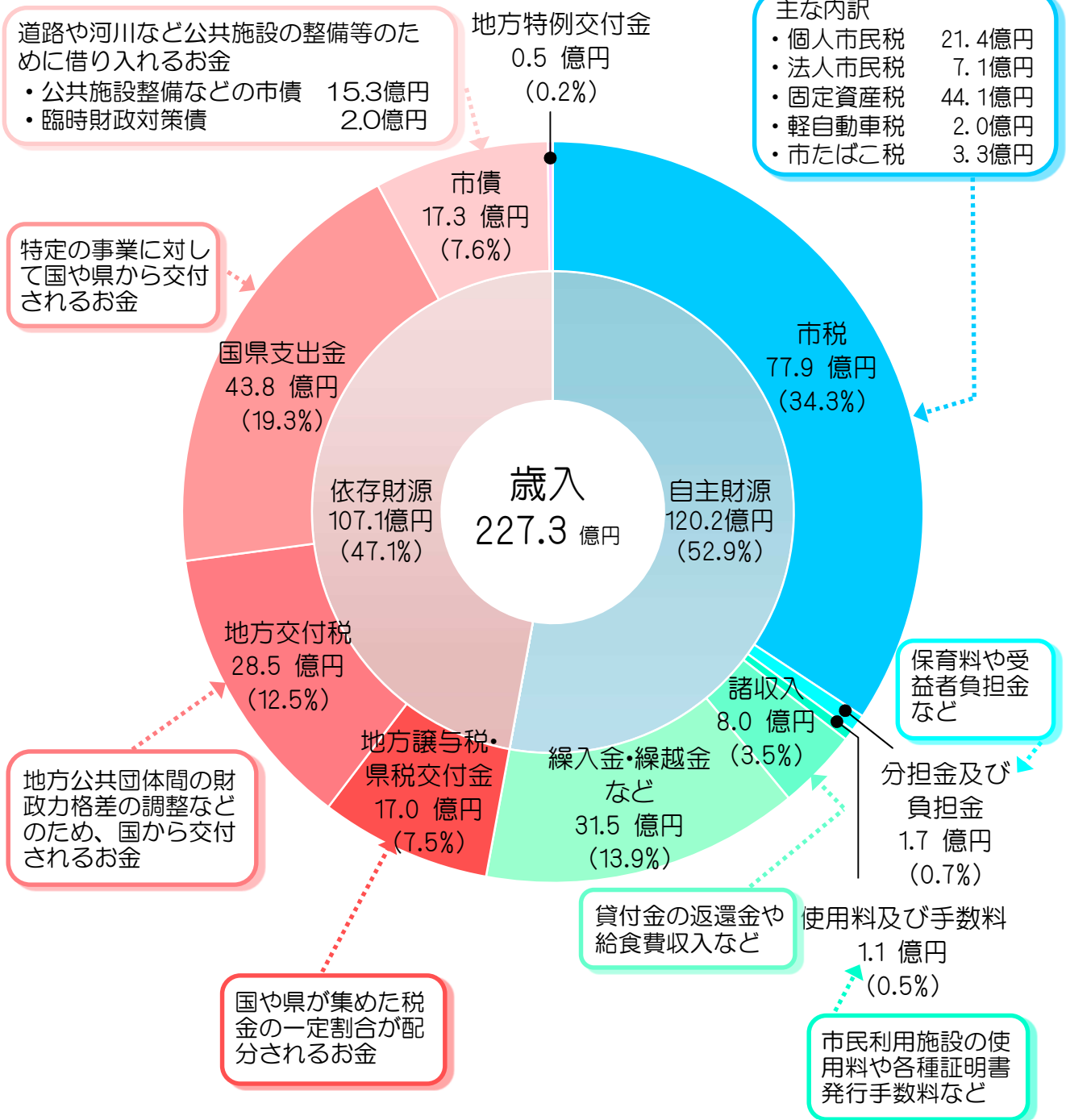
特別会計は、保険事業の制度改正などにより増減しています。

企業会計の水道事業は、配水池整備などの大規模事業の実施時に大幅な伸びとなっています。

令和5年度 予算を見てみよう

一般会計

歳入（収入）



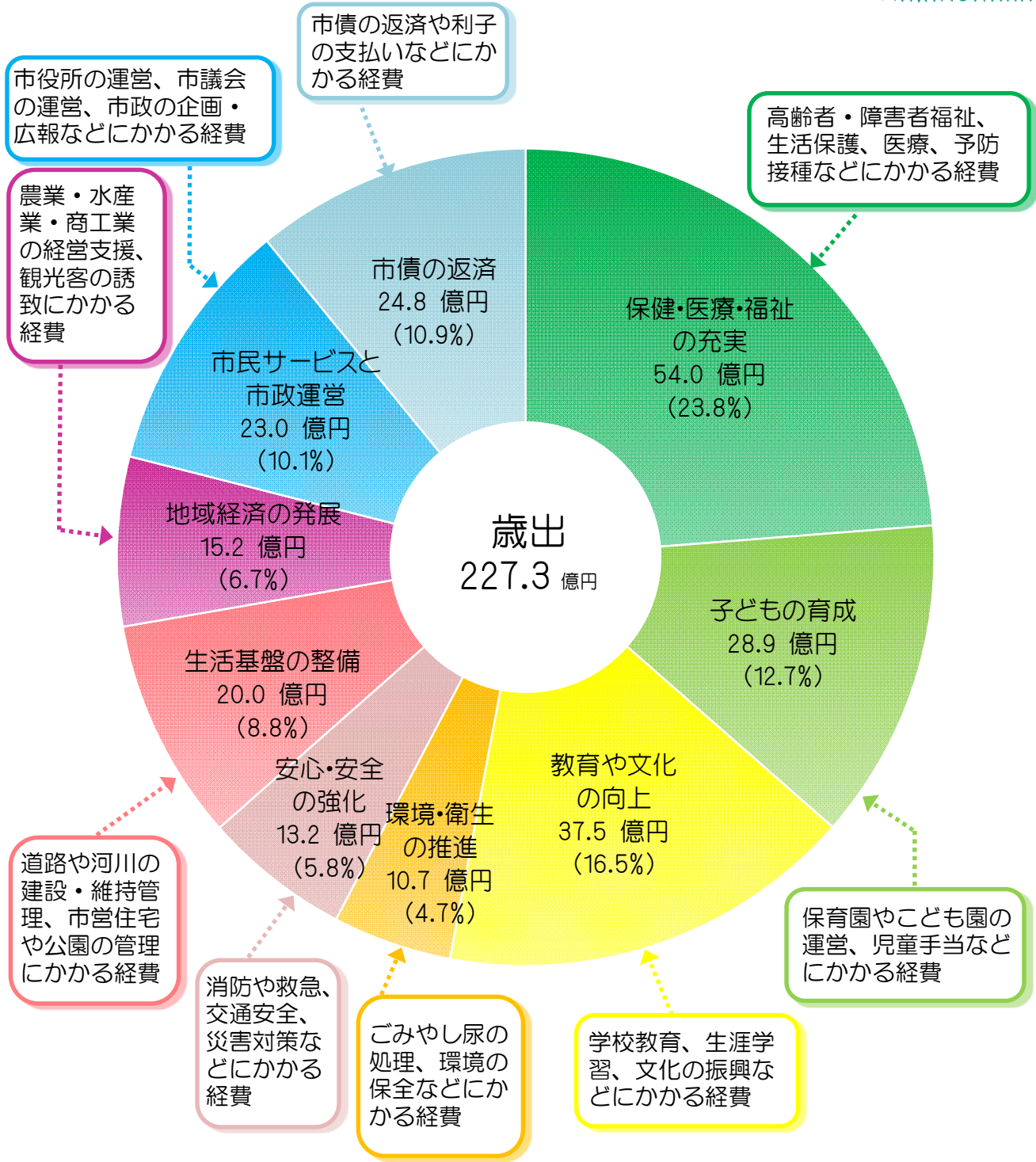
市債

市の施設は将来にわたって長期間使われるため、その整備費については今の市民だけでなく、将来の市民にも公平に負担してもらおうという考えで市債を活用しています。しかし、借り入れに際しては、実質公債費比率の増加を抑えるため、交付税算入がある有利な起債を選択して借り入れを行っています。

また、このほか標準的な行政サービスを維持するため、国が交付税として交付できない分を地方公共団体が肩代わりする臨時財政対策債も借り入れています。

※ 端数処理のため合計値が一致しない場合があります。(以下同様)

歳出（支出）



予算の3分の1以上が、高齢者や障害者、生活困窮者などへの支援、医療や介護の保険事業、予防接種、保育園やこども園、放課後児童クラブの運営、こども医療費助成、児童手当などの社会保障経費に使われています。

また、過去に整備した道路や学校をはじめとした公共施設などは借金をして事業を行っています。毎年、予算の約1割を返済に充てています。

市民1人あたりに換算すると

一般会計

※ 令和5年1月1日現在人口 43,497 人(外国人含む)

予算を市民1人あたりに換算すると、52万2,600円になります。医療や福祉、教育、道路の整備・補修など、様々な市民サービスに使われています。



保健・医療・福祉の充実



124,300円

子どもの育成



66,400円

教育・文化の向上



86,300円

環境・衛生の推進



24,700円

安心・安全の強化



30,400円

生活基盤の整備



45,900円

地域経済の発展



34,800円

市民サービスと市政運営



52,900円

市債の返済



56,900円

牧之原市の1年間の収入と支出を家計簿にあてはめて説明します。

令和5年度の予算を年収500万円（月収41万6,700円）の家計に置き換えてみました。



意次くん

1か月の家計簿

< 収入 >

給与	41万6,700円
（基本給（市税）	23万2,800円
（諸手当（譲与税・交付金など）	18万3,900円
家賃収入（使用料・手数料など）	8,400円
親からの支援（国・県支出金）	13万 800円
貯金の取り崩し（繰入金）	7万1,400円
銀行からの借入（市債）	5万1,800円
計	67万9,100円

< 支出 >

食費（人件費）	9万6,700円
医療費（扶助費）	10万6,500円
ローンの返済（公債費）	7万4,000円
車の購入、家の増改築費 （投資的経費・維持補修費）	14万7,700円
友人への支援金 （補助費等・投資・出資金）	7万4,600円
子どもへの仕送り （一部事務組合負担金・繰出金）	9万6,700円
光熱費など（物件費など）	8万2,900円
計	67万9,100円

支出は、車の購入や家の増改築を行うため、大幅に増加しています。節約が難しい食費や医療費を可能な限り切り詰めて、さらに、子どもへの仕送りや光熱費なども極力抑えて生活しています。

収入は、景気回復が見込まれることから基本給が増額となっています。家の増改築に係る費用が増加したため、銀行からの借入は大きく伸びています。

今後、維持修繕費の伸びが予想されているため、必要最低限の支出にするなど、抜本的な生活習慣の見直しが必要になってきています。

牧之原市の主要な事業は？

若者が住み続けられる持続性のあるまちづくりに向けて、様々な事業を行っていますが、戦略的な観点から5つのプロジェクト事業を重点施策に位置付け取り組んでいます。

富士山型ネットワークの充実



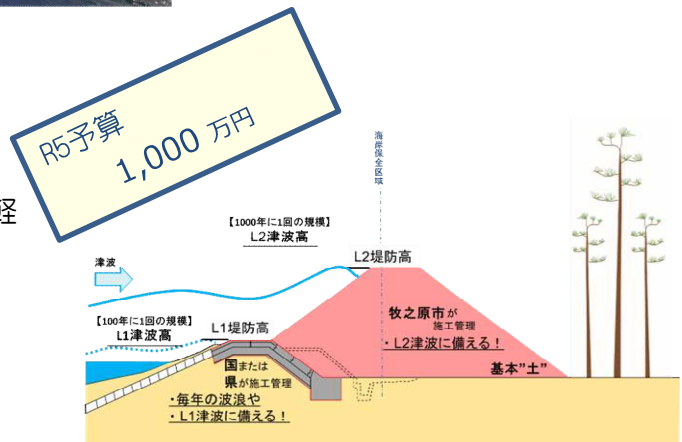
沿岸部・高台それぞれの立地環境や地域資源の利点を活かした「コンパクトで独自性あるエリア」を拠点に、魅力あるサービスやライフスタイルを創出します。また、各エリアを効果的にネットワークでつなぎ、機能連携や役割分担による相乗効果を通じて、市全体の総合発展と定住を促進します。

◎海岸防潮堤（レベル2）整備事業

想定される最大規模の地震津波による被害を軽減するためのL2津波堤防を整備します。

◆駿河海岸（榛原工区）

全長 約800mを3か年で整備

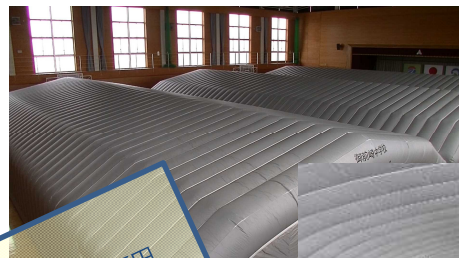


出所：駿河海岸における海岸保全のあり方（H2T. 8）駿河海岸整備検討会

R5予算
1,000万円

◎放射線防護施設整備事業

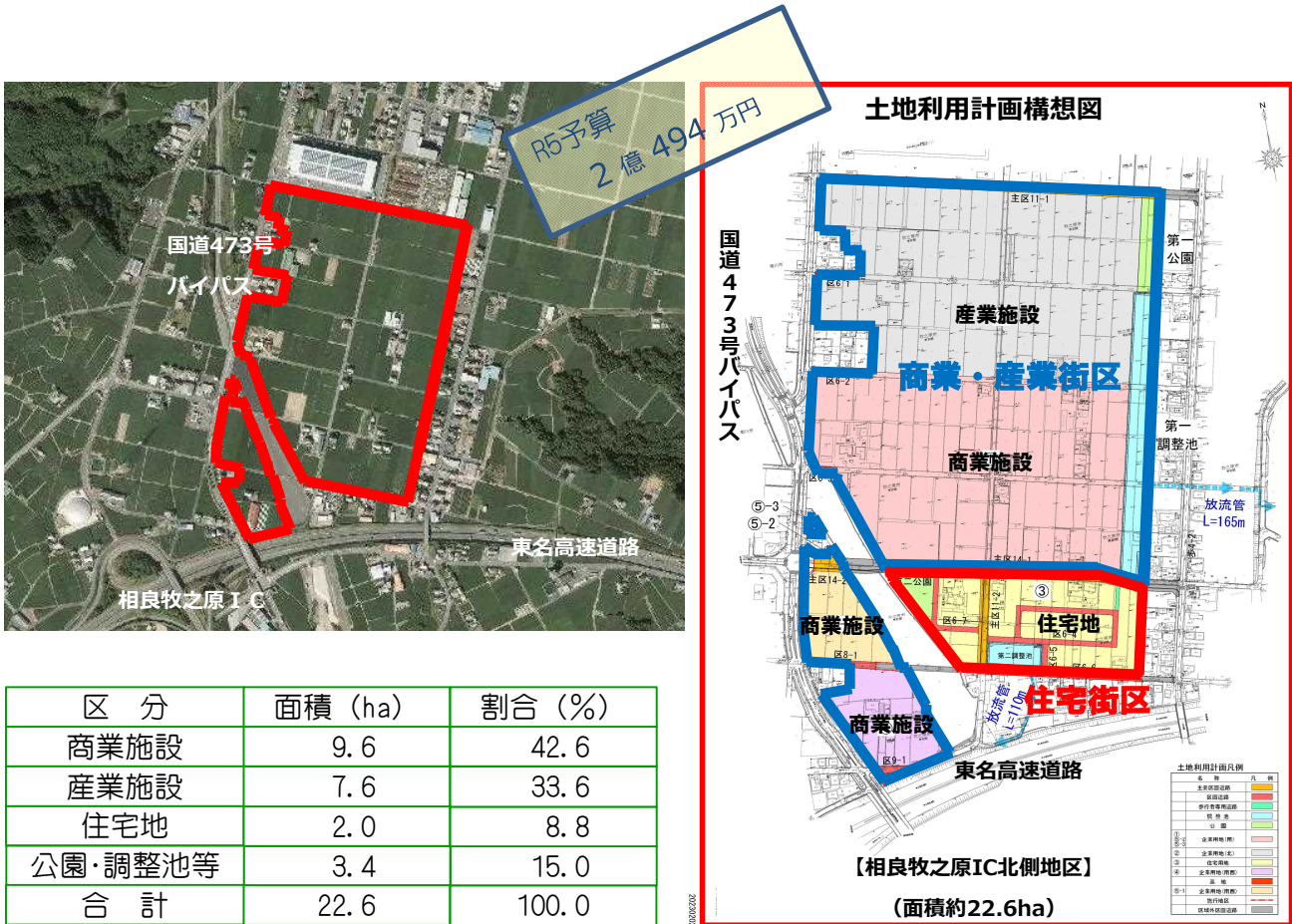
P A Z圏内の要配慮者等の原子力災害時における一時避難施設として、現在、建設中の多目的体育館内にエアシェルターを整備します。



R5予算
2億2,400万円

◎新拠点開発推進事業

東名高速道路相良牧之原IC北側地区の複合的な用途による開発を推進し、市内全体に効果を及ぼす、個性あふれ、成長の基盤と魅力的な住環境を備えた新たな拠点を整備します。



◎グラウンド芝生化事業

グラウンドの芝生化を推進し、施設利用者の安全性や利便性の向上を図るとともに、スポーツ合宿などを誘致し、地域経済の活性化に取り組みます。

- ◆相良総合グラウンドの芝生化
グラウンドの半面分を施工
施工面積 11,893㎡
2か年で整備



◎道の駅(仮)さかべ整備事業

広域交流拠点である富士山静岡空港と近接する坂部区において、地域振興施設及び休憩施設、情報発信施設で構成される道の駅を整備します。

駐車場、トイレ、情報提供施設、休憩施設
※道路管理者又は市町村等で整備

地域振興施設
(農産物直販施設、飲食スペースなど)
※市町村等が整備



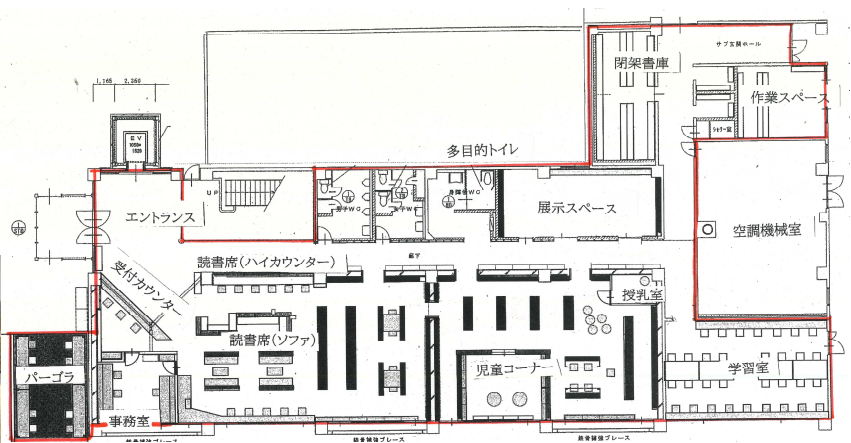
R5予算
2億4,720万円

- 農業を中心とした持続可能な仕組みづくり
- 交流人口拡大の拠点づくり
- 食と自然から健康拠点づくり

◎榛原図書館機能拡充リノベーション事業

図書館機能の拡充のため、榛原図書館の施設環境を改善し、蔵書数の増加や児童コーナーの設置など新しい機能を取り入れたリノベーション工事を実施します。

R5予算
1億1,241万円



◎沿岸部活性化事業



静波海岸周辺地域における、大規模人工造波施設「静波サーフスタジアム」の整備を契機として、サーフィンを中心に人を呼び込み、沿岸部の賑わい創出の拠点とするため、市有地の有効活用などの活性化を図ります。



- ◆サーフィンUSA代表選手の招聘・交流
- ◆サーフィン大会開催の支援
- ◆キッズサーフィンスクールの開催
- ◆小中校生サーフィン体験教室の開催
- ◆高校生サーフィンサークル活動の支援
- ◆スケートボードパーク整備の支援 など

R5予算
2,920万円



DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

従来の半分の職員数でも機能が発揮できるよう、AI・ロボティクス等を使いこなすスマート自治体への転換に向けて、デジタル化を推進します。また、進行する人口減少・少子高齢化に向けて、効率的で持続可能な行政サービスを提供するとともに、利便性向上や、魅力の発信力を強化します。



- 行政手続きのオンライン化
（マイナポータルを活用した子育て、介護、税等のワンストップサービス）
- オンラインでのイベント申込、体育施設の予約
- 窓口業務のデジタル化
（キャッシュレス導入、キオスク端末の設置、タブレット窓口案内、遠隔窓口支援システム導入）
- スマホ体験教室の開催
- LINEによる情報発信の強化

R5予算
1,843万円

◎行政サービスICT化推進事業

人口減少や社会情勢の変化に対応し、将来にわたって市が持続的に行政サービスを提供するため、AIやRPA等のデジタルツールを活用し、業務改革やDXの推進を図ります。

- ◆RPA、AI-OCR、AI議事録の利用拡大
- ◆庁内web会議システムの利用拡大
- ◆外部デジタル人材の活用 など

ゼロカーボンと経済成長の好循環の実現

温暖化への対応を経済成長制約やコストではなく、成長の機会と捉え、民間企業の主体的な取組を支援し、経済と環境の好循環による成長を通じて、持続性ある産業への転換、発展を図ります。また、産業、生活、公共サービスなどの各分野において、循環型経済の構築に向けた取り組みを進めます。

◎オーガニックまきのはら推進事業

「荒廃農地の増加抑制及び収益化」と「環境に配慮した農業」を推進するため、バイオ炭の実証実験、早生樹導入支援、複合経営支援、化学肥料の低減に向けた茶園の土壌診断・分析及び微生物検査支援を実施し、持続可能な農業の実現を目指します。



◎萩間地区工業用地造成事業

県、市、企業の3者により、事業の実現に必要な基本協定を締結し、早期の工事着手を目指します。また、開発区域外で予め整備が必要な公共施設について改修等を実施します。

スズキ株式会社相良工場を『CASEなどに対応した次世代モビリティの研究開発拠点』として再整備することを支援します。

Connected (コネクティッド)
Autonomous/Automated (自動化)
Shared (シェアリング)
Electric (電動化)

R5予算 1億1,951万円



◎資源・エネルギー利活用推進事業

令和3年1月に「ゼロカーボンシティ」宣言をし、脱炭素のまちづくりを推進しています。各家庭における温室効果ガスの排出削減を図るため、自然エネルギーの利活用や省エネ改修費などを補助します。



◆家庭用創エネ・省エネ・蓄エネ設備設置の支援

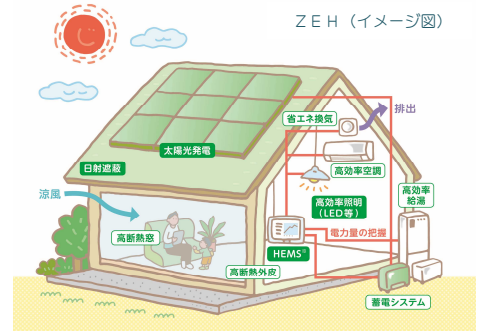
- ☞ ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の建築
- ☞ 蓄電システムの設置
- ☞ 太陽光発電システムの設置（蓄電システムと同時導入の場合）

◆省エネ住宅の普及支援

- ☞ 省エネ診断
- ☞ 省エネ設計
- ☞ 省エネ改修（建て替えも含む）

◆太陽熱利用の導入支援

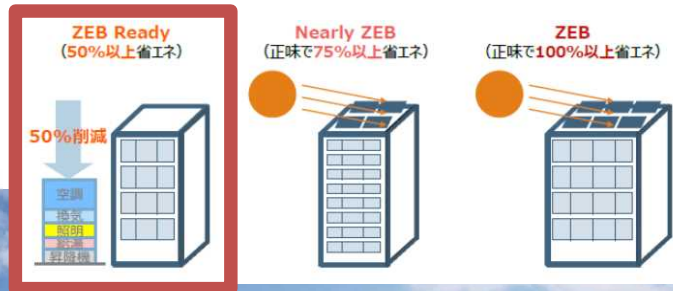
- ☞ 自然循環型太陽熱温水器
- ☞ 強制循環型太陽熱利用システム



R5予算
988万円

◎多目的体育館整備事業

牧之原市スポーツ推進計画に基づき、スポーツに限らず多目的に利用できる機能とともに、原子力災害時には放射線防護機能を有する施設としての体育館を整備します。また、エネルギー消費量50%以上の削減を図るZEB Readyの認証取得に取り組みます。

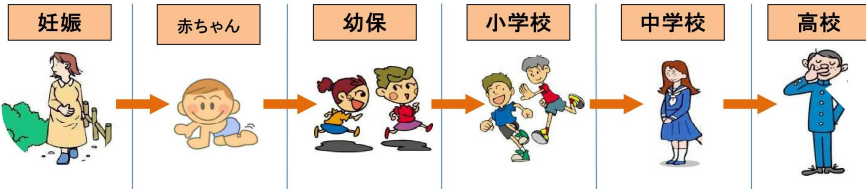


R5予算
19億7,112万円



日本一女性にやさしいまちの推進

子どもや家族と暮らす場として選ばれるよう「子育ての楽しさ」や「しやすい」環境づくり、女性の働き方などの新しいニーズに対応するため、子育てをする母親の目線での「子育て」「働き方」「保育」などのサービスの充実に取り組み、若者世代の流出抑制、定住促進に繋がります。



R5予算
19億9,510万円

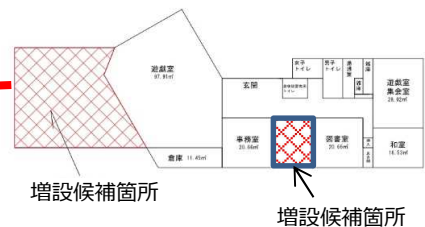
- ◆不妊治療費の助成
- ◆妊産婦通院費の助成
- ◆子ども医療費の助成
- ◆待機児童を出さない保育園・幼稚園・認定こども園、放課後児童クラブの運営
- ◆地頭方保育園と地頭方幼稚園を統合、認定こども園化
- ◆小学校入学祝金の支給（児童一人あたり3万円） など
- ◆出産・子育て応援給付金の支給
- ◆妊産婦特定疾病医療費の助成
- ◆子育て支援センターの移転整備

◎子どもの居場所支援事業

孤立や孤食、学習や生活上の困難、経済的な課題を抱える学齢期の児童を対象に放課後や夏休み等の時間に信頼できる大人や友達と安心して過ごせる居場所を整備します。



榛原児童館平面配置 S=1/100



R5予算
470万円

◎公園整備事業

子育て世代を中心に、市民ニーズが高い施設重点公園を中心に計画的な遊具整備、施設の維持補修を行い、市民に利用される、満足度の高い公園に改修します。



R5予算
5,437万円



- ◆展望台・遊具設置工事、遊具修繕工事
- ◆多目的広場にトイレ設置
- ◆資料館改修工事

次代を切り拓く力を育む新たな学校づくり



子どもたちの「次代を切り拓く力」を育むため、市立小中学校10校を、小学校と中学校を合わせた9年間の連続した学びや育ちを行うことができる義務教育学校2校に再編します。

◎学校再編事業

子どもたちが楽しい学校生活を送り、「次代を切り拓く力」を育てていくため、みんなで子どもを育てる「共育」を実現する「みんなの学校」を目指し、小学校と中学校が一緒になった「義務教育学校」を整備します。

目指す学校像

5つの基本方針

- すべての子どもが主役の学校
- 「次代を切り拓く力」を育む学校
- 安心・安全な学校
- 地域の未来を担う子どもを育てる学校
- 働きやすく充実した指導ができる学校



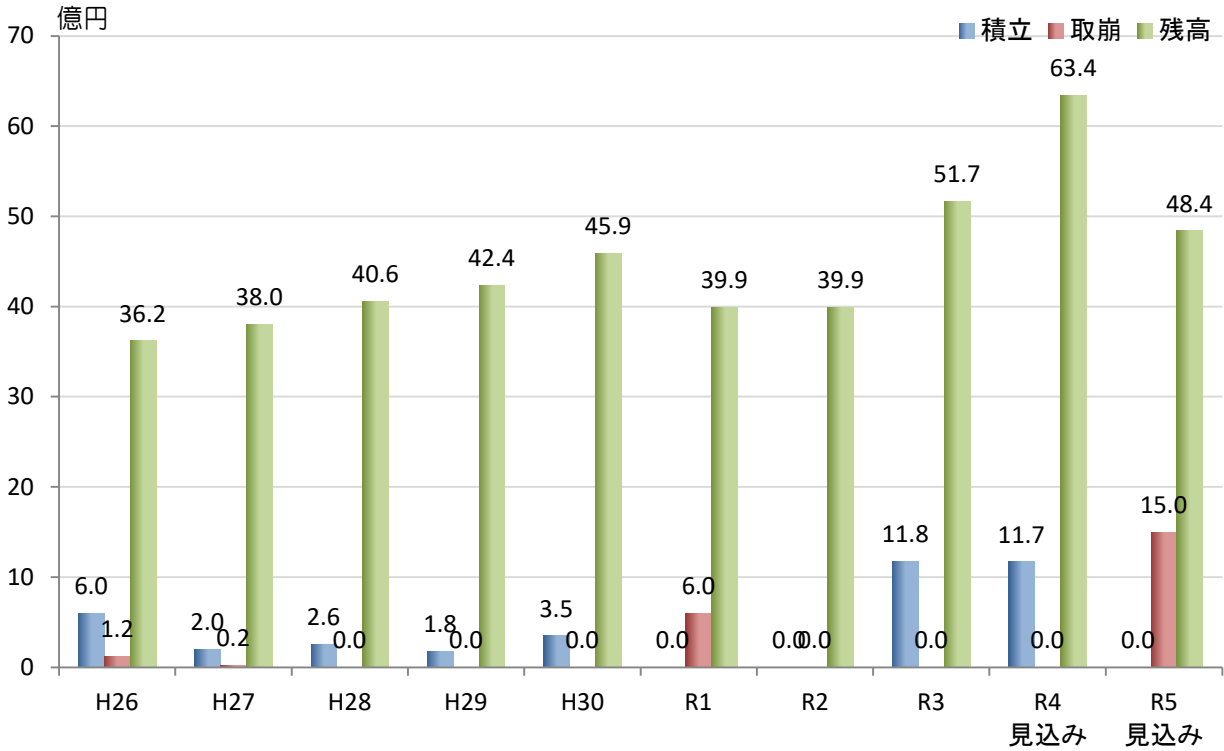
※牧之原市菊山小学校組合立牧之原小・中学校は再編対象外。



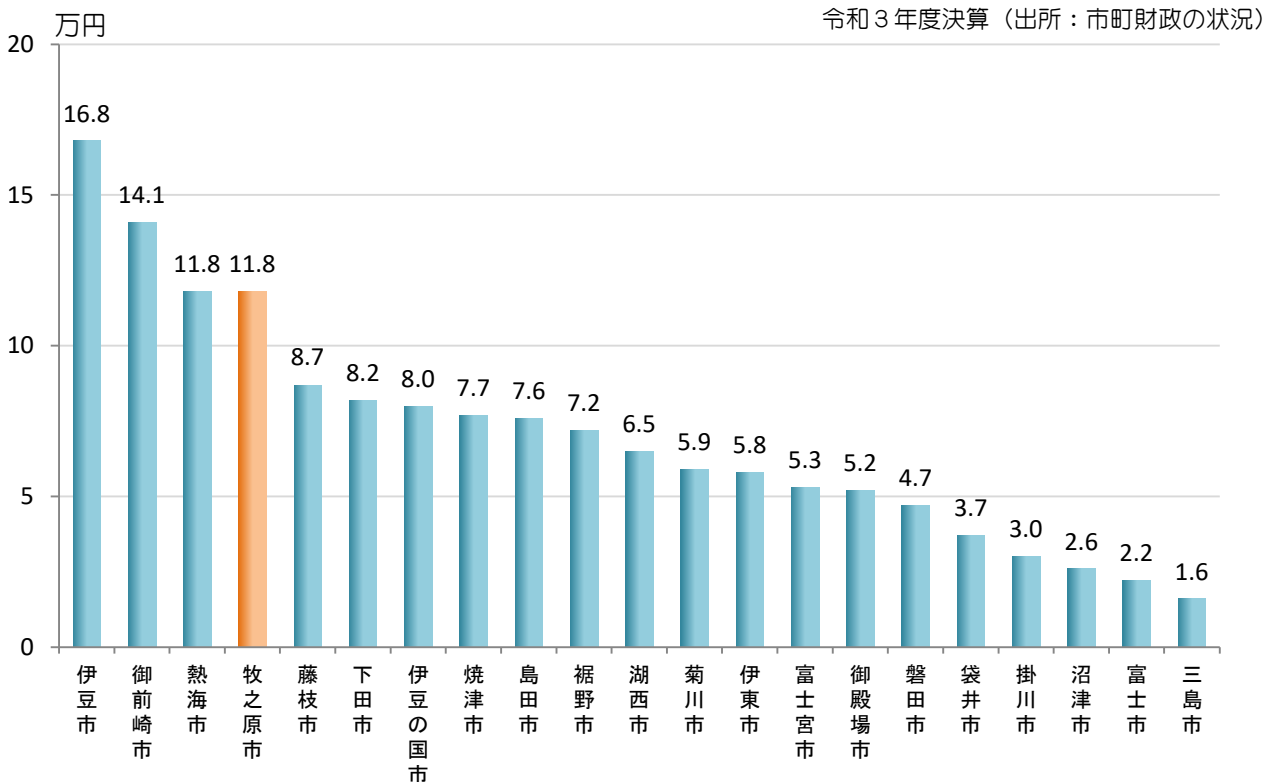
牧之原市の貯金は？

財政調整基金と
減債基金の合計額

基金残高などの推移



市民1人あたりの基金残高 (県内21市の比較) 政令市を除く

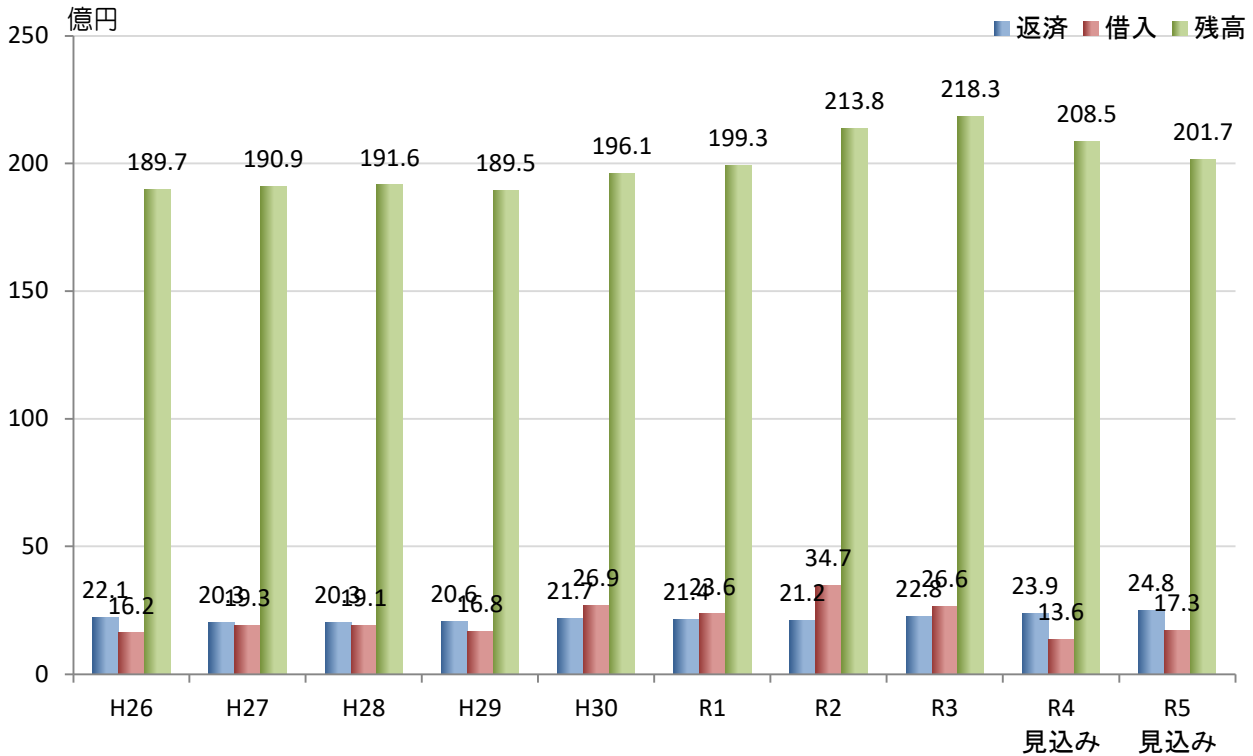


牧之原市の借金は？

普通会計



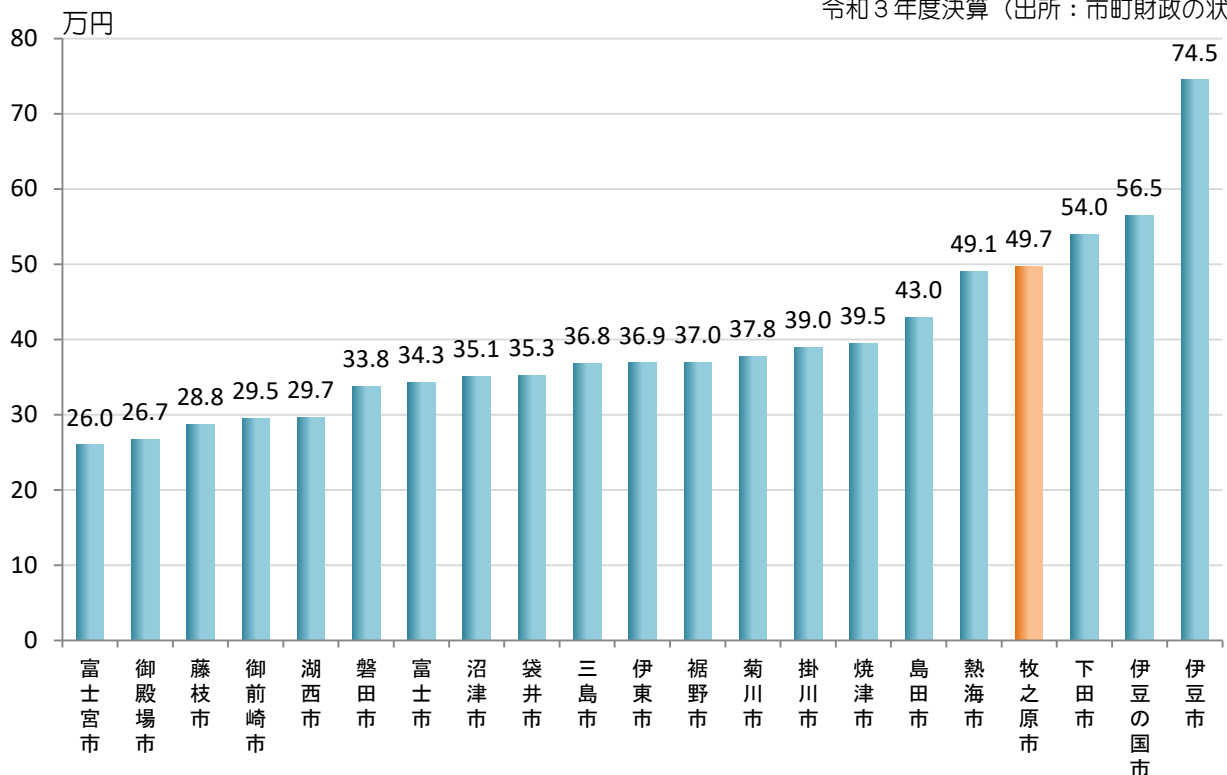
市債残高などの推移



市民1人あたりの市債残高

(県内21市の比較) 政令市を除く

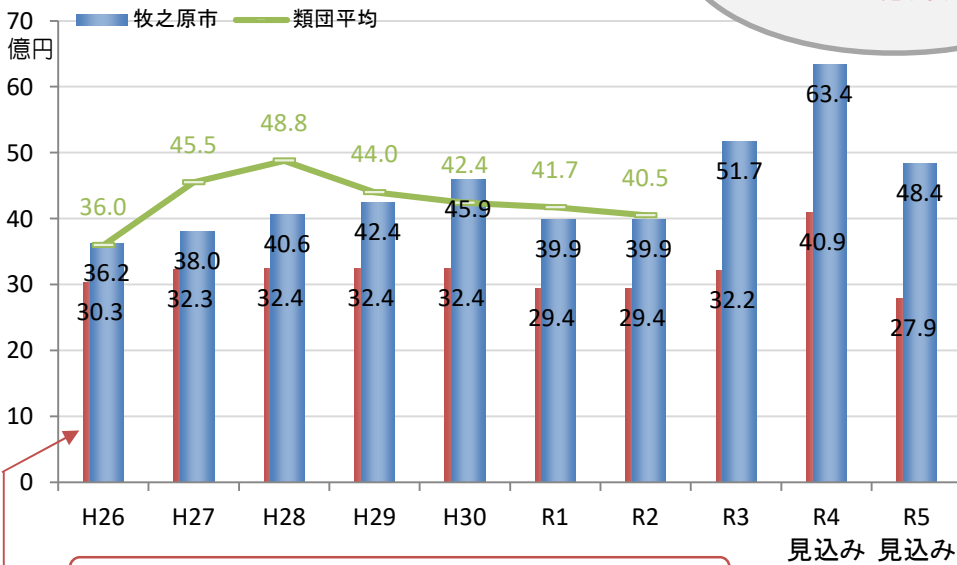
令和3年度決算 (出所: 市町財政の状況)



貯金と借金の目標額は？

基金残高の類似団体比較

類似団体の平均値を
目指します。
40億円以上

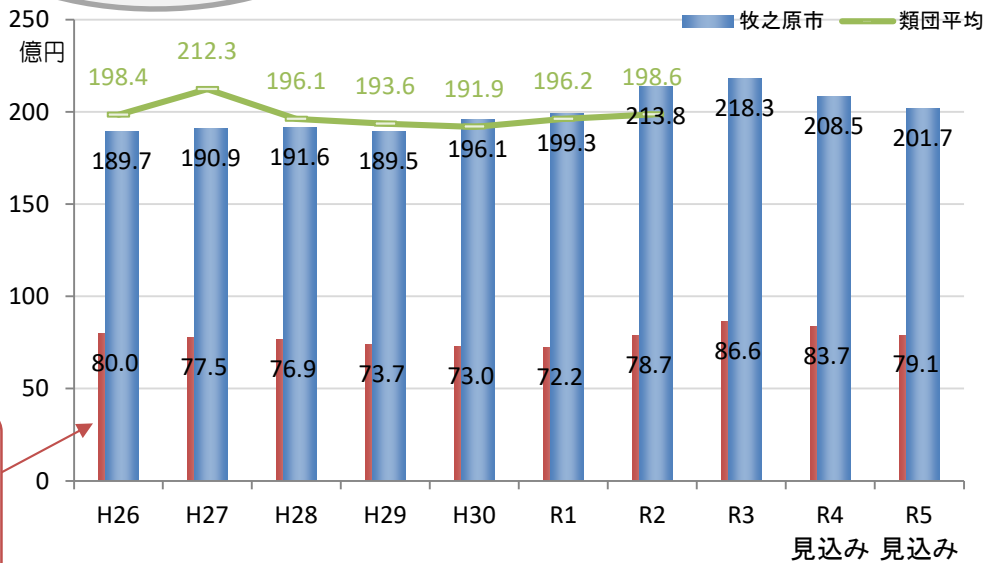


基金残高のうち7割程（直近は6割）は、財政調整基金という貯金で、年度間の不均衡を調整するために使われます。

市債残高の類似団体比較

類似団体の平均値を
目指します。
200億円以下

類似団体は、全国の市町村を「人口」と「産業構造」の割合で類型化したものです。
牧之原市は、人口5万人未満の都市のうち、第2次産業及び第3次産業を合わせた就業人口比率が90%未満で、かつ第3次産業就業人口比率が55%未満に区分され、全国で35団体あります。



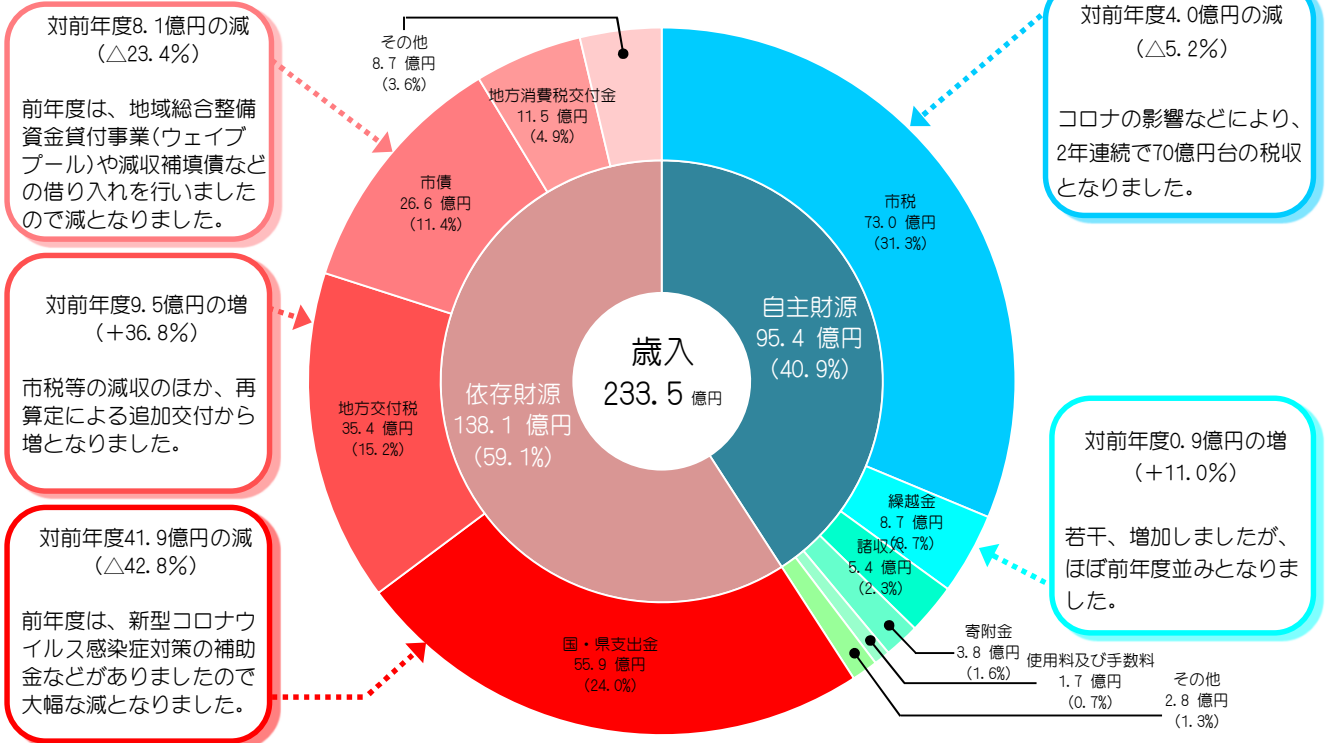
市債残高のうち4割程は、臨時財政対策債という借金で、その国の収入が不足しているため、地方が借り入れしています。

令和3年度 決算をしてみよう

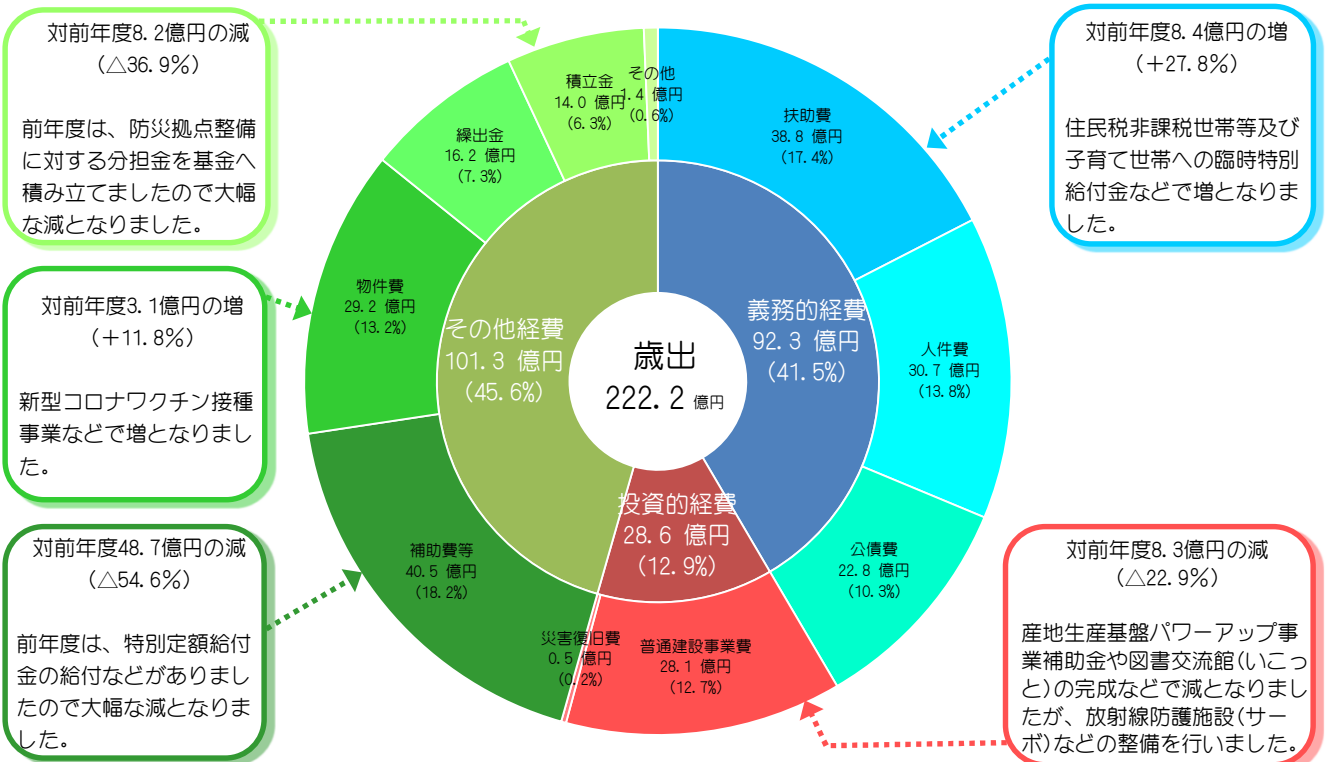
普通会計



歳入（収入）

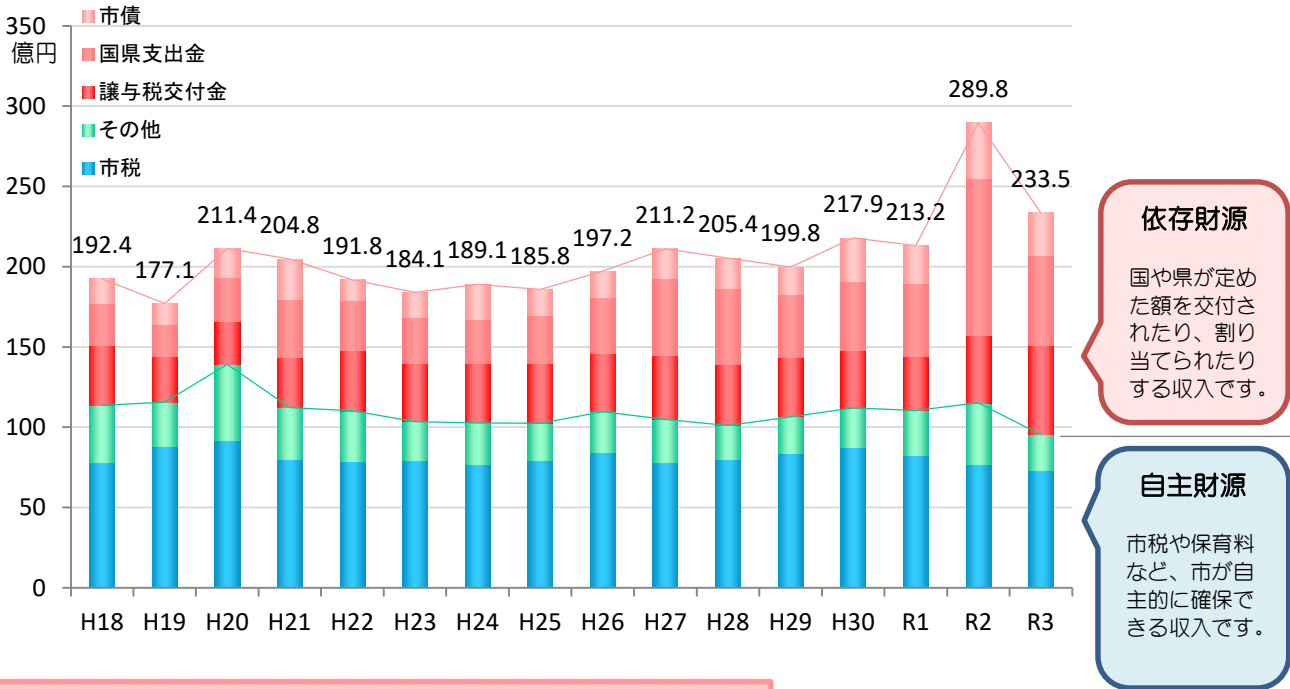


歳出（支出）



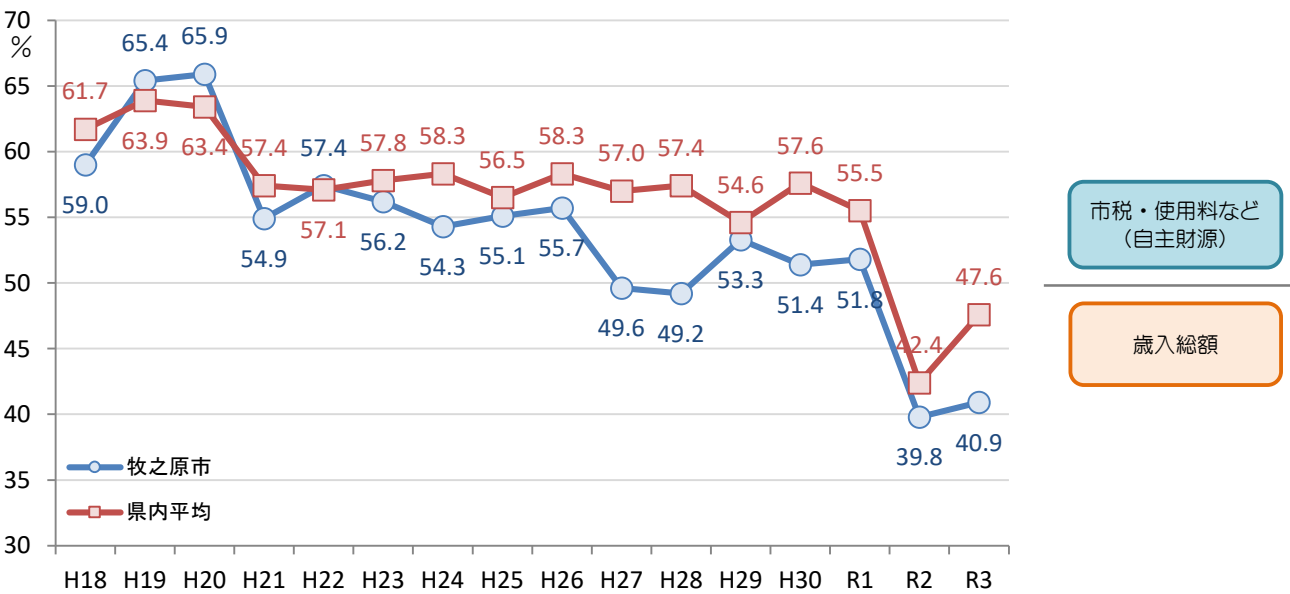
歳入決算額（収入）の推移

収入には、みなさんに納めていただいた市税や保育料のほか、国や県から使い道が指定され交付されるお金、道路や施設を整備するときに借り入れる市債などがあります。



自主財源比率の推移

歳入総額に占める自主財源の割合（自主財源比率）が高いほど、自主的かつ安定的な行政活動を行うことができます。

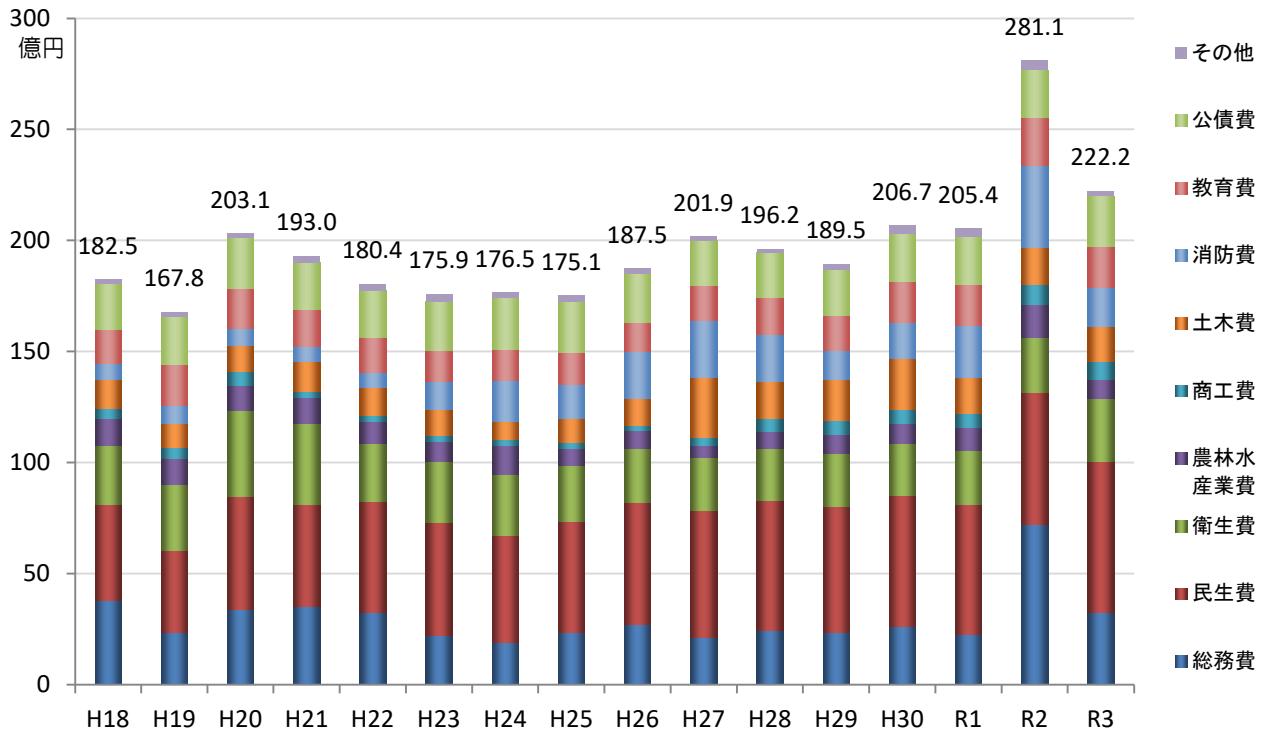


県内の直近10年間の平均は、平成29年度と令和2年度、令和3年度を除けば55%から60%の間を推移しています。牧之原市の比率は、県内の平均より低い状態が続いていますので、国や県の補助金を上手に活用するとともに、自主財源の確保に努めていきます。

歳出決算額（目的別）の推移

入ってきたお金が、どのような目的で使われたのかを見ることができます。

福祉や子育てのほか、道路や学校などをつくったり、火災や救急に備えたり、様々な事業にお金を使っています。



総務費

市役所の運営、情報発信、税金の徴収、住民票の発行など

民生費

保育園やこども園の運営、児童手当、生活保護、高齢者や障害者などの福祉

衛生費

医療、予防接種、ごみやし尿の処理、火葬場の運営など

農林水産業費

農業や水産業の経営の支援など

商工費

商店街や中小企業の支援、観光施設の管理、観光客の誘致など

土木費

道路や河川、橋の整備、市営住宅や公園の管理など

消防費

消防や救急、災害の対策など

教育費

小・中学校や公民館、スポーツ施設の管理・運営、生涯学習、文化の振興など

公債費

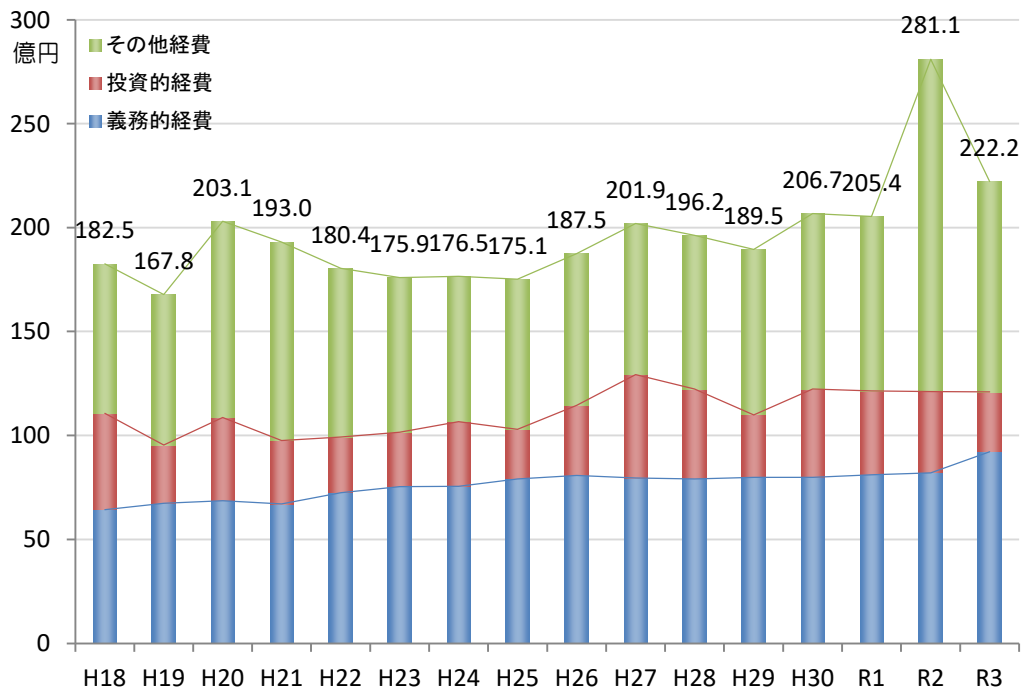
道路や学校を作る時に国や銀行などから借り入れたお金の返済

その他

議会の運営、働いている人や仕事を探している人の支援、災害の復旧など

歳出決算額（性質別）の推移

入ってきたお金が、どのような性質で使われたのかを見ることができます。義務的経費、投資的経費及びその他経費に大別しています。

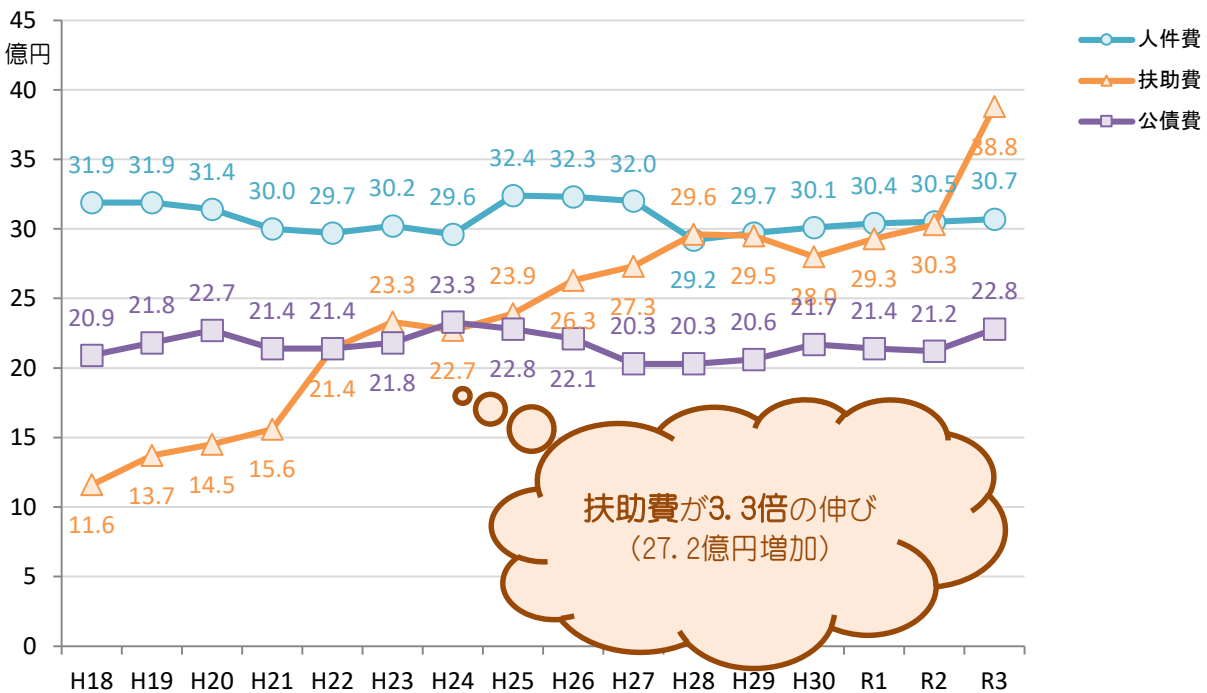


その他経費
施設の管理費、各事業の民間企業への委託、事業や団体への補助金、特別会計への繰出金などの経費です。

投資的経費
道路、橋りょう、公園、小・中学校、市営住宅の建設など社会資本の整備に要する経費です。

義務的経費
毎年の支出が義務付けられ、節減することが難しい経費です。

義務的経費の推移



扶助費が3.3倍の伸び
(27.2億円増加)

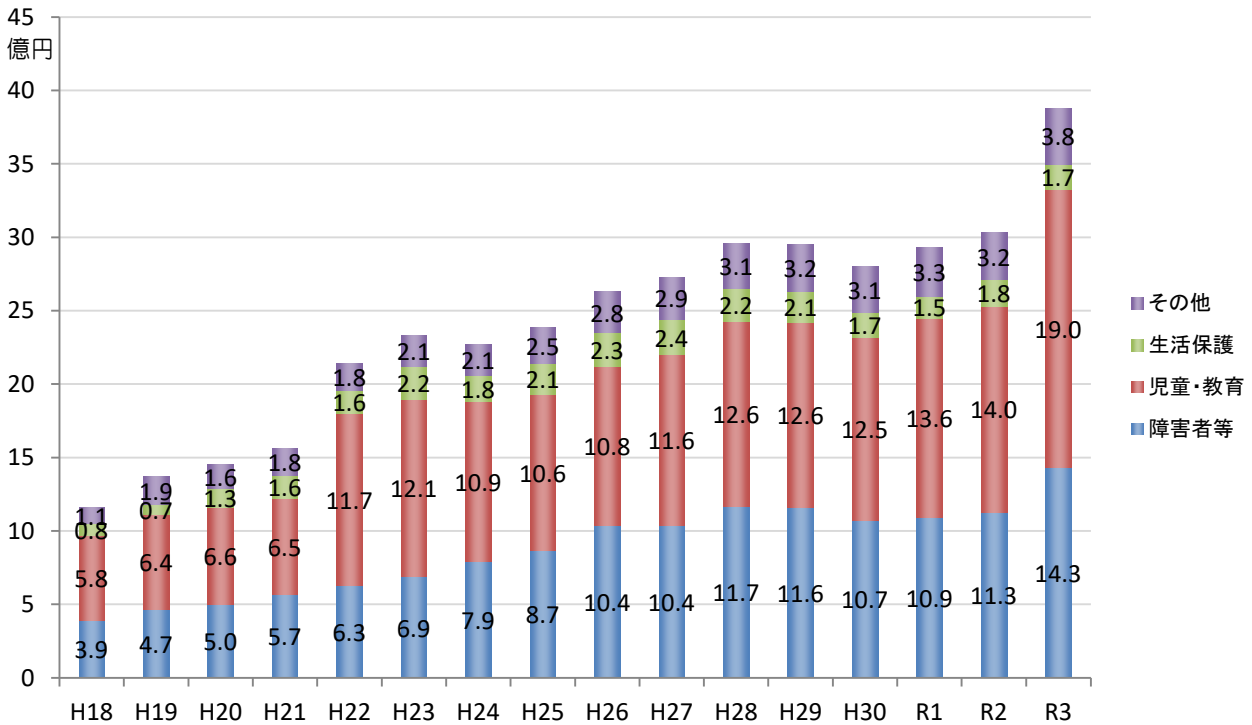
平成17年10月の合併時から人件費と公債費は、増減はありますがほぼ横ばいで推移しています。扶助費は、27.2億円増加しました。障害者自立支援や生活保護、児童手当などが大きく伸びています。

社会保障経費の推移

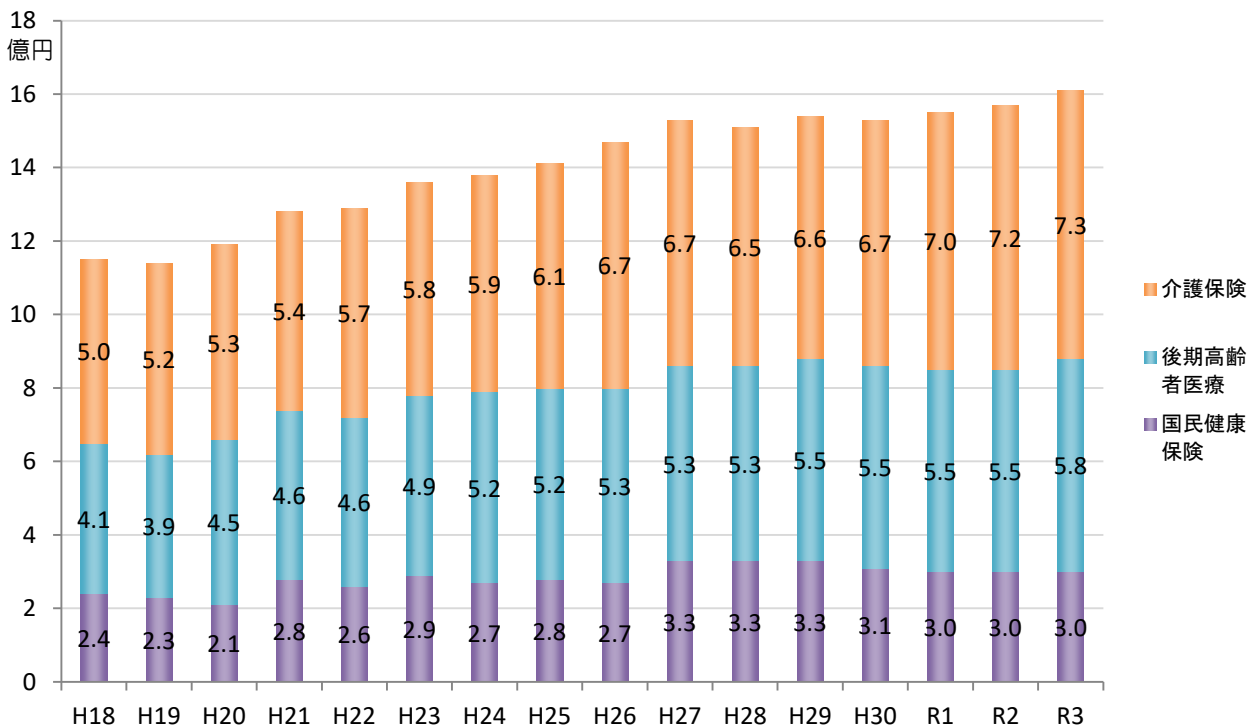


少子高齢社会の進行などにより、社会保障経費（扶助費や医療保険・介護保険）が年々増加しています。

<扶助費の推移>



<医療保険・介護保険の推移>



主な財政指標の状況

財政指標はいろいろありますが、ここでは以下の指標を取り上げました。

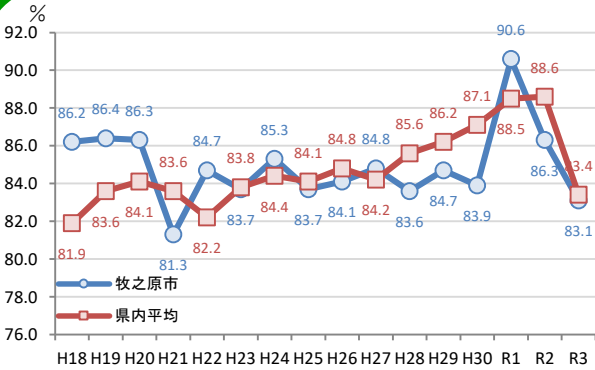
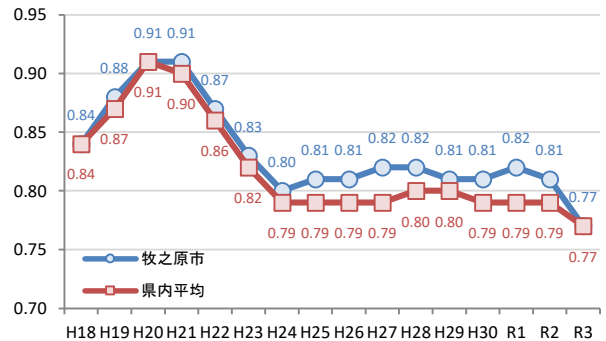
財政力指数



意次くん

0.77は県内で
22位 /35市町
(大きい方がいい)

標準的な行政活動を行うために必要な財源をどの程度自力で調達できるかを見る指数です。



経常収支比率

83.1は県内で
15位 /35市町
(低い方がいい)

経常的に入ってくる市税等に対して、経常にかかる経費の占める割合を表す指標です。



意次くん

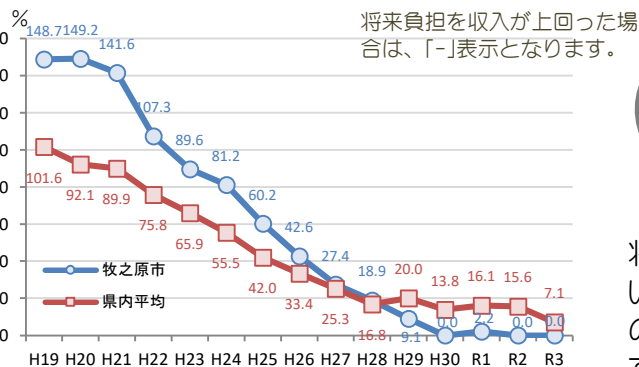
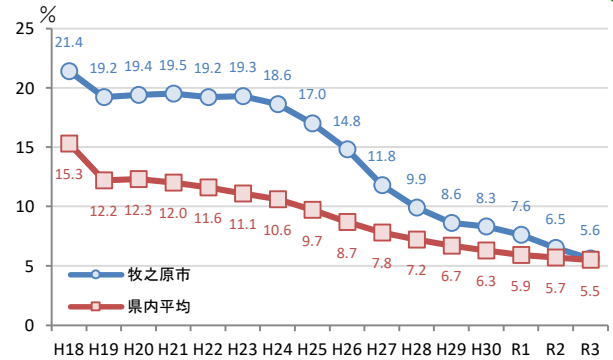
実質公債費比率



意次くん

5.6は県内で
13位 /35市町
(低い方がいい)

収入に対して返済額がどの程度の割合になるのかを示す指標です。



将来負担を収入が上回った場合は、「-」表示となります。

- は県内で
1位 /35市町
(低い方がいい)

将来支払わなければならない負債が、収入に対してどの程度なのかを示す指標です。

将来負担比率



意次くん

令和3年度 財務書類を見よう



財務書類は、民間企業で作成している「財務諸表」の考え方を取り入れた決算書類です。

財務書類4表

貸借対照表

市が持っている資産や負債などのストックの状況を示したものです。

行政コスト計算書

1年間の経常的な行政サービスに要した費用等を示したものです。

純資産変動計算書

純資産が1年間でどのように変動（増減）したかを示したものです。

資金収支計算書

1年間の現金の流れを示したものです。

財務書類の会計の範囲

牧之原市では以下の3種類の範囲で財務書類を作成しています。

- 一般会計等 … 一般会計及び地方公営事業会計以外の特別会計
- 全 体 … 一般会計等に地方公営事業会計を加えたもの
- 連 結 … 全体財務書類に関連団体を加えたもの



チャーフィン&チャーミー

連結財務書類

(一部事務組合・広域連合、第三セクター等を加えた会計)

全体財務書類

(牧之原市のすべての会計)

一般会計等財務書類

(普通会計と同じ会計)

- ・一般会計
- ・土地取得特別会計
- ・国民健康保険特別会計
- ・後期高齢者医療特別会計
- ・介護保険特別会計
- ・農業集落排水事業特別会計
- ・水道事業会計

- ・ 牧之原市菊川市学校組合
- ・ 静岡県市町総合事務組合
- ・ 御前崎市牧之原市学校組合
- ・ 吉田町牧之原市広域施設組合
- ・ 静岡地方税滞納整理機構
- ・ 相寿園管理組合 (令和3年3月31日をもって解散しましたが、令和3年度に清算が結了したため、連結対象としています。)
- ・ 大井川水道企業団
- ・ 牧之原市御前崎市広域施設組合
- ・ 大井川広域水道企業団
- ・ 東遠工業用水道企業団
- ・ 東遠広域施設組合
- ・ 駿遠学園管理組合
- ・ 榛原総合病院組合
- ・ 静岡県後期高齢者医療広域連合

- ・ (公財)山崎こども教育振興財団
- ・ (一財)まきのほら活性化センター
- ・ (福)牧之原市社会福祉事業団

一般会計等財務書類

財務書類は4つの表が密接に関係し、整合性が図られています。

(単位：億円)

貸借対照表		令和4年3月31日現在	
借方		貸方	
固定資産	842.6	固定負債	224.3
有形固定資産	757.4	地方債	195.0
無形固定資産	0.1	退職手当引当金	29.3
投資その他の資産	85.1	その他	-
流動資産	66.8	流動負債	28.4
現金預金	14.3	1年内償還予定地方債	23.3
未収金	0.5	その他	5.1
基金	51.7	負債合計	252.7
その他	0.3	純資産合計	656.7
資産合計	909.4	負債及び純資産合計	909.4

道路や学校、基金などの資産の現在の価値です。

市税や国・県からの補助金などで、現世代が負担してきた金額です。

市債の償還金などで、将来世代が負担する金額です。

(単位：億円)

資金収支計算書	自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日
業務活動収支	20.0
投資活動収支	△22.0
財務活動収支	4.5
本年度資金収支	2.5
前年度末資金残高	8.7
本年度末資金残高	11.2
本年度末歳計外現金残高	3.1
本年度末現金預金残高	14.3

(単位：億円)

純資産変動計算書	自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日
前年度末純資産残高	644.4
純行政コスト (△)	△183.2
財源	190.6
本年度差額	7.4
資産評価差額	0.0
無償所管換等	4.9
その他	0.0
本年度純資産変動額	12.3
本年度末純資産残高	656.7

(単位：億円)

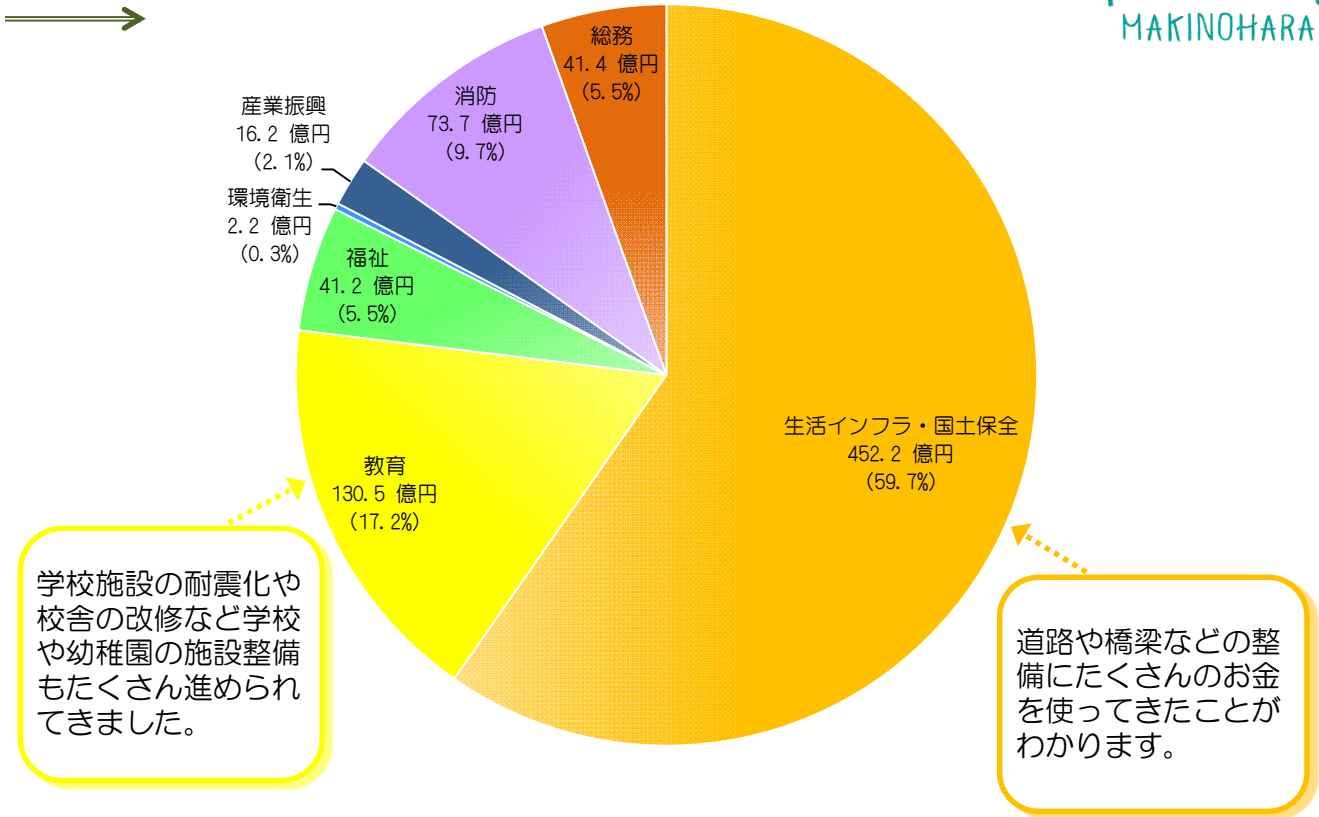
行政コスト計算書	自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日
経常費用	190.5
業務費用	102.6
移転費用	87.9
経常収益	10.3
純経常行政コスト	180.2
臨時損失	3.0
臨時利益	0.0
純行政コスト	183.2

牧之原市は909.4億円の資産があります。そのうち、656.7億円は現世代で支払が完了しています。負債の252.7億円は将来世代が負担していくこととなります。

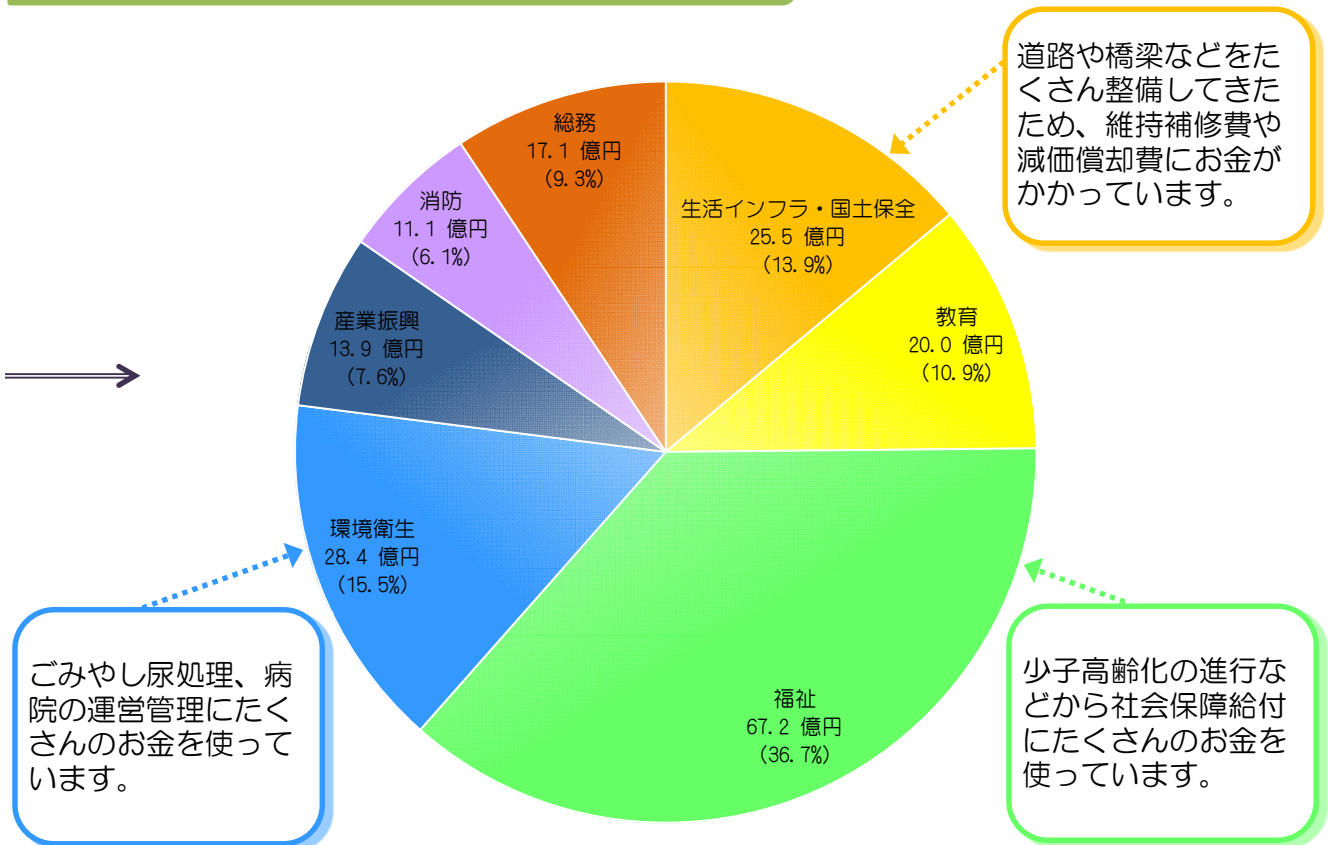
資金収支は2.5億円の黒字になりました。純資産は1年間で12.3億円増加しました。

経常費用の中で大きな割合を占めるものは、委託料や施設等の維持補修費、減価償却費などの物件費等で、次いで一部事務組合負担金（ごみ・し尿処理、病院）や団体等補助金などの補助金等となっています。

行政目的別有形固定資産



行政目的別行政コスト



財務書類からの分析

貸借対照表から得られるストック情報だけでなく、世代間の公平性や持続可能性、効率性、自律性に係る指標を設定することで、より多角的な視点からの分析を行うことができます。



チャーフィン&チャーミー

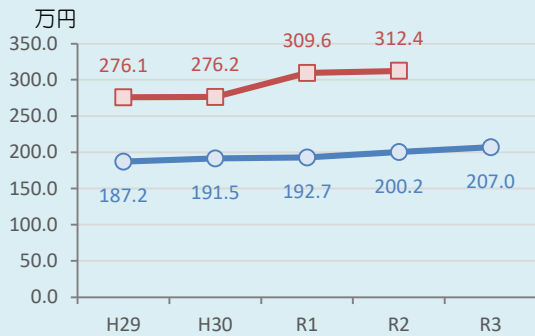
資産の状況

将来世代に残る資産はどのくらいあるの？

<住民一人当たり資産額>

資産合計 ÷ 住民基本台帳人口 (R4. 1. 1)

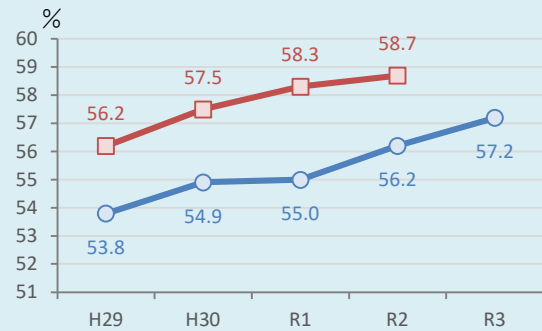
市民一人当たりの資産額とすることにより、わかりやすい情報となるとともに、他団体との比較が容易になります。



<有形固定資産減価償却率>

減価償却累計額 ÷ 有形固定資産の取得価額等 × 100

耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているのかを把握することができます。比率が高いほど、施設の老朽化が進んでいると言えます。



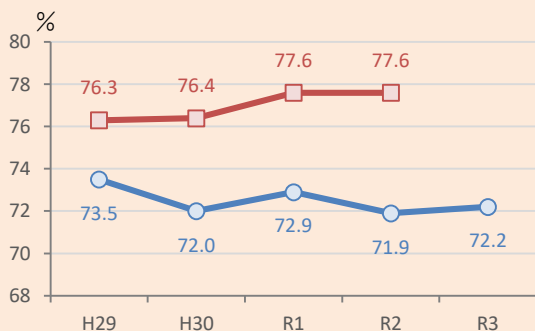
資産と負債の比率

将来世代と現世代との負担の分担は適切なの？

<純資産比率>

純資産合計 ÷ 資産合計 × 100

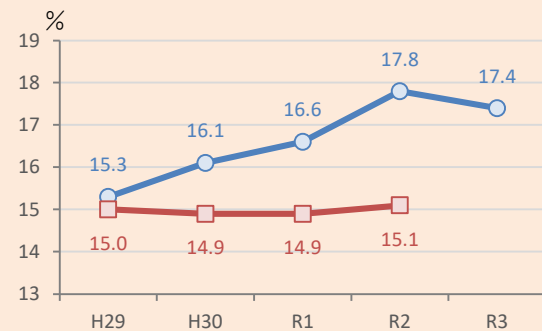
これまで蓄積してきた資産に係る負担の割合を見ることができます。比率が高いほど、これまでの世代の負担によって資産を取得してきたことになります。



<将来世代負担比率>

地方債残高 ÷ 有形・無形固定資産合計 × 100

これまでに整備してきた公共資産のうち、将来世代が負担する負債がどれだけ残っているのかを把握することができます。比率が高いほど、将来世代の負担が大きいことになります。



牧之原市は、ごみやし尿処理、病院などを他市町と組合を構成し運営しているため、類似団体の平均値と差がやすい傾向にあります。

—■— 類団平均
—○— 牧之原市

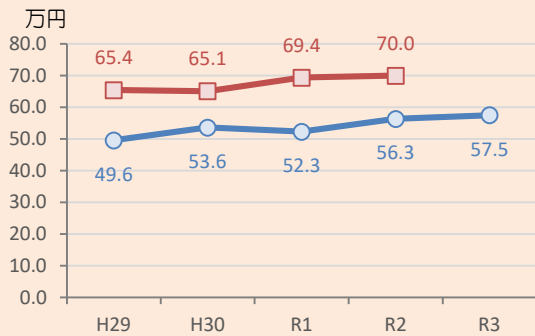
負債の状況

持続可能性はあるの？（どのくらい借金があるの？）

<住民一人当たり負債額>

負債合計 ÷ 住民基本台帳人口 (R4. 1. 1)

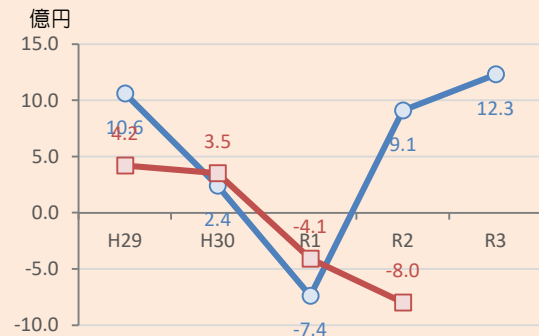
市民一人当たりの負債額とすることにより、わかりやすい情報となるとともに、他団体との比較が容易になります。



<基礎的財政収支 (プライマリーバランス)>

業務活動収支 (支払利息除く) + 投資活動収支 (基金除く)

行政サービスに係る費用が借金や基金等の取崩しに頼らず、税収等で賄われているのかを把握することができます。指標がプラスであれば、税収等でまかなわれていることとなります。



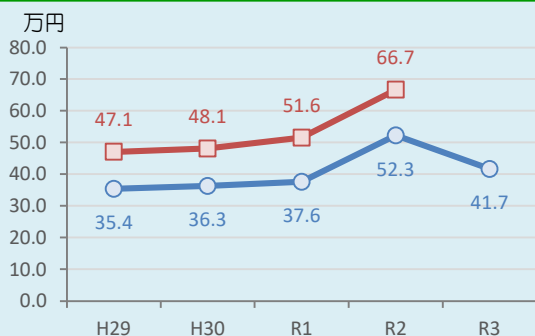
行政コストの状況

行政サービスは効率的に提供されているの？

<住民一人当たり行政コスト>

純行政コスト ÷ 住民基本台帳人口 (R4. 1. 1)

市民一人当たりの行政コスト額とすることにより、わかりやすい情報となるとともに、他団体との比較が容易になります。



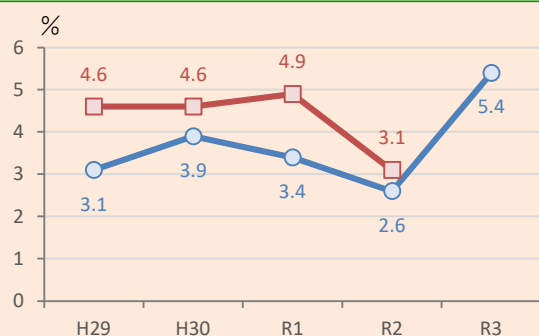
受益者負担の状況

受益者負担の水準は適切なの？

<受益者負担比率>

経常収益 ÷ 経常費用 × 100

行政サービスの提供に対する受益者負担の割合を把握することができます。受益者負担水準の適正さの判断に活用することができます。



わかりやすい牧之原市の財政2023



令和5年4月

静岡県牧之原市